

高校生メデイカル講座

田中北大教授が講義

札幌北高

医学部を目指す高校生に道内三医大教授らが出前講義する「高校生メデイカル講座」が十七日、北区の札幌北高校で行われた。同校出身の田中伸哉北大分子細胞病理学(腫瘍病理学)分野教授を講師に、生徒三十七人が医学や医療に対する関心を深めた。

医学部を目指す高校生を踏まえ、道が進める「地域医療を支える人づくりプロジェクト事業」の一環で、道教委と三医大が連携して二十年度から道内各地の高校で開催している。この日は同校のほか、札幌南、札幌西、札幌東、計四校の二年生が参加した。

田中教授は「目指せ医学部―医学部学生生活から医師へ」と題して講演。学部教育課程や大学院博士課程など医師への道について語った。また、がん治療の歴史、蛍光物質を使った脳腫瘍手術や各地の病院とのテレパソロジー・ネットワークなどの様子も映像で紹介した。

模倣実習は、顕微鏡実習と肉眼病理実習を行った。顕微鏡は実際には持っていないため、パトチャルスライドで肺病変を示してスケッチさせた。肉眼病理では剖検症例の臓器を実際に手に取らせて体感させ、生徒からは臓器の色や特徴などについての質問が次々飛んでいた。

生徒たちは、AO入試や学生生活などについて先輩大庭北大助教に熱心に耳を傾けた。また、病理医の達成感について問われた田中教授が「大学病院には難しい病気が多いが、最後の砦として診断することで治療方針も決まる」と答えると、生徒は大きくうなずいていた。



肉眼病理実習では剖検症例の臓器を実際に手に取らせ、質問に答えた

2がTh17細胞抑制

自己免疫疾患の治療法開発に期待

北大薬学研究院と理学研究所の研究グループは、核内蛋白質「PDLIM2」が自己免疫疾患を引き起こすTh17細胞の過剰な分化を抑制することを明らかにした。免疫抑制療法や治療薬の開発につながるかと期待されている。

北大薬学研究院と理学研究所の研究グループは、核内蛋白質「PDLIM2」が自己免疫疾患を引き起こすTh17細胞の過剰な分化を抑制することを明らかにした。免疫抑制療法や治療薬の開発につながるかと期待されている。

細胞への分化を誘導すると、正常マウスに比べ二―三倍進むとともに、STAT3が多く発現していた。このことから、PDLIM2はSTAT3をTregキチン化して分解することで、Th17細胞の分化を抑制することが裏付けられた。PDLIM2は炎症

大庭北大助教に海外留学助成金 万有交流財団 万有生命科学振興国際交流財団は、生物統計学分野を対象にした二十四年度海外留学生奨学助成金(一件三百万円)で北大高度先進医療支援センターの大庭幸治助教への交付決定を発表した。大庭助教の対象研究テーマは「ランダム化比較試験から得られた個人データに基づくメタアナリシスに関する統計的方法論の

① 1月の予定

7日(土)	早稲田大・札幌大 スポーツ医科学研究会2012＝札幌大記念ホール 札幌大保健医療学部理学療法学科011(611)2111内線2972
14日(土)	公益社団法人北海道作業療法士会設立記念式典＝札幌グランドホテル 道立子ども総合医療・療育センター訓練課011(691)5696内線2004
21日(土)	第17回PT・OT合同冬季研修会＝札幌医療技術福祉専門学校 Eメール道理学療法士会事務局学会研修部tokinaga@nishino-g.ac.jp
22日(日)	かかりつけ医認知症対応力向上研修会＝道医師会館 道医事業第3課011(231)1726
	北海道小児救急地域医師研修会＝旭川グランドホテル 道医事業第2課011(231)1725

庭助教の対象研究テーマは「ランダム化比較試験から得られた個人データに基づくメタアナリシスに関する統計的方法論の900」。